

令和4年度、第1回豊川市内病院の看護管理者会議事録

日時：令和4年6月16日(木)

11時～12時30分

場所：医師会館小会議室

方法：会場+オンライン

1. 出欠確認：出席者10名（オンライン1名）欠席者2名

2. はじめに

会長挨拶

3. 情報交換

Q：コロナ対策で変わったこと、

「面会制限について」

・現状では、コロナ感染は比較的落ち着いているように思うが、当院の対応に大きな変化はない。臨機応変に対応している。

・当院も変わったことはない。面会に関しても、ITが整っていないので、制限は継続している。しかし、今週からウェブでの面会を行う方向で調整している。

・大きな変化はない。暫く会っていないと言われた時は、1人5分程度許可している。ネット環境が整っていないので、リアルタイムではないが、食事やリハビリの様子を動画で撮影し、洗濯物の引き渡しの時に見て貰っている。状況がわかるので良いと好評である。

・大きな変化はない。タブレット面会やライン登録して頂いてのテレビ電話は対応している。状態の悪い方は、個室で5分程度、面会可としている。

・6月からの緩和に向け、入院日数が3週間以上の方に、それも平日に限って2週間に1回、2人迄の面会を行っている。縛りがある中で行っているが、コロナの感染状況を見て進めていく。元々、看取りについては、面会を行っていたが、それ以外の方は3週間以上、入院期間がある方から始めている。

・看取りと必要時に対応している。2月から週に1回、4月からは予約制で対面面会を実施している。面会后などに発熱があるとヒヤヒヤするし、コロナは、目に見えないので不安と戦っているのが現状。以前は、リモート面会も行っていたが、その都度、人が取られるため、継続が困難となり、中止した。

・当院は、面会制限の緩和に関して慎重派の方。終末期の方が多く入院されているので、臨機応変に対応している。ラインのビデオ通話利用や動画も見せているが、個人情報の管理の為、その場で動画は消去している。他院が緩和方向なので、心苦しい。

・特別、緩和はしていない。看取りの場合は個室で1人10分以内。大部屋の場合は外に出て貰って数分だけの面会としている。洗濯物は、毎日14時～17時で対応。

・大きな変化はない。看取りの方は個室で1人一日1回10分程度としている。しかし基本的に面会を制限しており、他の方の目もあるので、許可証を付けて貰っている。リモートやライン電話も使っているが、リモートだけで家族と患者で食い違いがある時は病棟外で対面面会をしている。

「職員への指導、行動制限」

・職員に関しては流行がない所であれば、所属長に届け出をして行っている。あくまでも個人の判断で行っており、困るようなことがあれば委員会で検討する。

・職員の行動制限は、少しゆるめ県外迄OKとした。イベントも屋外はOKだが、屋内は禁止している。医療職として良識のある行動をお願いしている。

・職員に対して、強制はしていない。これまでは、どこにも行ってはいけないものだと思っていたようだが、少し緩んでいて、友達から陽性の連絡を受けたという報告はある。我慢が限界という所もあるので、院内でも出来ることは考えようという感じはある。家族指導をしないと退院できないので、指導は個室で行っている。

・職員に対しては細かく指示をしていない。あれはどう、これはどうという話になるし、県の方針に従い医療従事者としての良識の範囲で行動して貰っている。どこに行っているか把握もしていない。病院としてイベントはしていないので、個人は個人で考えるようにして貰っている。

・当院も良識の範囲で、個人として考えて行動して貰っている。

・陽性者と接触があった場合は報告をするようになっているが、他に制限はない。

・行動制限は今迄通り。学会もハイブリッドか、現地解散となっている為、参加は可能としている。4人以上の集まりに対しては制限している。

・当院も県の要請に従って貰っている。

・法人全体で方針が示されている。個人に対しての要請はないが、理事長からの注意喚起のメールは続いている。自分で判断しましょうというのが基本。社食は黙食を続けている。

「施設周辺の散歩・リハビリについて」

Q: 関連施設を持っている所について、周辺を散歩させたいがどうかという質問がある。外出外泊は禁止なので、許可をしていないが、皆さんの所はどうか、

・歩ける人は病院周辺のスタッフ付き散歩訓練に出ている。

・訓練はOKだが、散歩はダメにしている。病院の周辺の交通量が多くて危ないのと、感染対策の監視も出来るので、リハビリがついていれば、OKにしている。立地的に交通量が多いので、散歩は禁止としているが、治療として必要で医師の許可があればOKとしている。

「面会者の予防対策について」

Q: 面会に来られる方の対策はどのようにされているか、フェースシールドは必要か

・多くの施設が、手洗い、消毒、検温、マスク、体調確認を実施。(フェースシールドは

使用していない)

- ・面会者は用紙に入室退室時間を記入して貰っている。業者も同様の扱い
- ・ワクチン2回以上の接種を口頭で確認している。未接種の場合は、医師が外来に出向いて説明している。

「市内病院の空床情報共有について」

- ・このような取り組みはこれまではなく、全体がみえるので有難い
- ・報告をみて連携室が入力していないと確認している。
- ・担当者は、入力に苦痛ではないと言ってきており、一覧にすると市内全体が把握できる。市民病院に空きがない時はどこもないが、経過を追っているとそれぞれが調整を行っているのが、よくわかる。
- ・これまではやみくもに連絡していたが、一覧をみて連絡できるようになった。
- ・医師が見るようになると良いが、医師にメールで送っても見ていない。医師との情報共有が課題である。
- ・当院は常に満床にしている為、依頼の連絡が無い。逆に空いていますというような発信の仕方も考えたい。

「各病院で課題となっている事」

1) 職員教育

- ・メンタルの面談ばかりしている。人間関係とか、新人看護師の教育に今時点で躓いている。何もできない子が毎年1人くらいいて、去年は退職になったのであの手この手でやってくれているけど、指導側が疲れてしまっている。
- ・中途採用の看護師でも介護職員でも腫れ物に触るようにやってくれているけど、どうすれば良いのかわからない状態。悪い所ばかりに注目してしまいそうになるので、「失うだけが方法ではない」と話しているが、双方がストレスを感じながら関わっている。
- ・基本体制が出来ていないのでこうなるのかと思うけど、5年くらい働いていても学んだことしか出来ない為、伸ばしていく方法に躓き、教える側がストレスを抱えている。新人の中にはメンタルの弱い人もいて、2~3 か月休んで、出てこれれば良いと思っていたが結局馴染めず、通所リハビリに行ってもらった所、良かった事例もある。体制やマニュアルを作らないといけないが、常に仕事に追われている。
- ・新人は出来ますというけれど、実際は出来ていない為、先輩と一緒に行動し、声掛けしやすいように体制を整えている。
- ・メンタルを抱えた方は経年的にある。今時点で4人ほど、診断書が出て休んでいる。今年は、パワハラ案件に取り組まなければならない。
- ・新人はいないが、皆さんの話を聞いて抱える悩みは同じだと安心できた。当院は職員の数も少なく、異動する場所もない。これまで教育課程は無かったので主任研修が行われることに期待している。経年的に長くなった人も目標を持てると良いなと思っている。
- ・病院の新設から1年と少し経ったが、新人もベテランも電子カルテや新システムに戸

惑っている。新人教育どころか、自分たちがついて行けない状況。透析棟も完成し、体制も手技も1から作り直さなくては行けないが、電子カルテになって、医師の指示があちこちに飛んで困るなど、運用でも課題は山積している。

- ・離職率はかなり低い。誰がどこに行っても対応出来るようにと働いてくれている。

新人採用はなく、中途採用者には先輩を二人くらいつけて、慣れて貰っている。年間に何人も入職するわけではないので対応できている。主任クラスの教育システムは無いので今回の研修に期待している。

- ・当院も課題だらけである。新しいクリニックが出来る予定があり、看護部の体制に変化があるが、後任者の教育に課題がある。外部研修にも出しているが、現場に応用することが出来ていない。今回の研修に参加させて頂いて、自分で作り上げていくしかないと感じている。マネジメントラダーがあるところは教えて頂きたい。ワークを進めて行けば良いと思うが、現在の状況に応じた内容を期待している。

2) 診療報酬など

- ・機能評価と感染対策を取得する予定である為、質を上げ保持していく必要がある。

- ・新築移転に伴い電子カルテを導入する予定なので、トラブルなく進めたい。

看護補助体制充実加算の内容がボリュームアップしている。それに伴い、研修を全員受けなければならない。

- ・看護補助体制充実加算は、取るか取らないかでわかる。取る場合は、師長は研修に参加させ、受講した師長が各部署に卸すのか、お金をかけてEラーニングをやるのだが、当院は、師長が教育することになると思う。他施設の方にも聞いたが、ツールが無ければ、師長が作るようになるのかなと思う。

- ・師長が作る時間があるか、そこが課題である。

- ・愛知県は、全国と比べて師長研修会は多く行っている。当院は、師長は看護協会と自治体病院学会の研修を受講する予定でいる。Eラーニングは、学研メディカルをやっているの、8月9日に受講する予定である。機能評価の更新も迫っている。

3) 身寄りがない入院患者への対応について

Q:緊急で独居の方が入院され、亡くなった場合などの対応についてどのようにされているか

- ・包括から入院の相談もあるが、毎回、入院されてから一緒に悩んでいく感じで対応している。

4) 会の運営について

- ・看護管理者会は年に3回の開催であるが、結論まで話し合う時間が取れない。

市内の12病院は、それぞれ機能が違うので、以前から希望があったように機能別に集まって意見交換するのも良い。退院調整担当者会では、担当毎に毎月のように集まって活動しているが、その結果を合同研修会で報告している。看護管理者会も希望があれば、場所の確保や議事録などのお手伝いは出来るので、具体的なことは機能別に分かれて活

動することも可能である。

- ・会議では、それぞれの話を聞くことは出来るが、内容を詰めることが出来ないのも、それも良いと思う。

「市内病院の機能について」（別紙参照）

- ・毎年、更新しているが、修正点があれば、電子@連絡帳で連絡して頂きたい。

4. 看護協会から（別紙、資料）

- ・今年度も2つの重点項目について取り組む予定である。ACPの推進では、研修会や事例報告を行う。地域災害応援ナースでは、東三河で49名の登録があった。受援体制を整えよう：来てくれた人にオリエンテーションをどう伝えるのか等、整備を行う方向。

5. 検討課題

「研修内容について」

Q:3番目の研修内容は、まだ決まっていないが、目標管理をやっても良いのでは思うがどうか、

- ・良い事だが、難しいと思う。

- ・大事なことではあるが、1回目を受講して、それぞれの主任が現場でどう活かすのかをみたい。

- ・初歩的なことからやって貰いたい。

- ・教育をしっかりできていないので、全く知らなくても、受講した後、実践で活かせるように、その後どうなったかなど。

- ・1回目の講義の内容にもよる。

- ・講師はファーストレベルのマネジメントレベルを行う。

看護協会と名大の資料を貰って準備している。当院ではファーストレベルを受講した人も希望している。課題をやるにしてもファシリテーターがちゃんといないと苦しくなるので、何回か講義を受けてからの方が良いのではないかと思う。

- ・初回研修後、アンケート結果などからどのように進めて行くか考えるのはどうか、

- ・次回の会議は10月20日予定なので、もう少し早く方向性を決めたい。研修後にアンケートを行うので、結果をみて考えることにする。皆さんのご意見を頂きたい。

「活動目標について」

今年度は研修を開催することに主体を置いた活動目標となっている。別紙、了承。

6. その他

「会議の開催時間について」

- ・クリニックで働くと、この時間帯で出席することは難しくなる。

- ・外来師長をされている方も出席が出来ない現状がある。

- ・変更を了承。次回から、13時30分に変更とする。

令和3年度、豊川市内病院の看護管理者会 活動報告

看護管理者会：3回開催（6月24日～7月2日・10月21日・3月17日）

開催日		会議等	議事内容	
6月	24日～7月2日	第1回看護管理者会 （電子@連絡帳）	情報交換：職員教育・災害対応・コロナ関連・地域包括ケア・ACP・業務効率化に関するシステム・転倒転落対応、感染後の患者受け入れ等	・項目別に意見集約シートを作成し、プロジェクト欄で情報共有を行った。PC環境に差がある為、投稿期間は10日間とした。
10月	21日	第2回看護管理者会 （オンライン+医師会館）	①市内病院合同研修会について ②コロナ禍の面会等、情報共有	・合同研修会に関する意見交換 ・自施設でのコロナ対応、現状報告を実施した。
3月	17日	第3回看護管理者会 （オンライン+医師会館）	①市内合同研修会について ②次年度の役員 ③コロナ禍の対応等で変わったことなど	・合同研修会に関するアンケート調査結果（全体・看護管理者会）を基に研修内容、日程等の確認を行った。

令和4年度、豊川市内病院の看護管理者会 活動計画

①看護管理者会：3回（6月16日・10月20日・2月16日）

②市内合同研修会：3回（看護管理者研修2回・講演会1回）

月	日	会議等	内容	
6月	16日	第1回看護管理者会	情報共有・研修等意見交換	
7月	7日	第1回合同研修会（管理者研修会）	講義（オンライン+会場）	講師：市民病院看護局次長（認定看護管理者、高橋氏）
10月	9日	第2回合同研修会	講演会（オンライン+会場）	外部講師：玉置妙優氏
	20日	第2回看護管理者会	情報共有・研修等意見交換	
第1回実施後に日程調整		第3回合同研修会（管理者研修会）	講義（オンライン+会場）	講師：市民病院看護局次長（認定看護管理者、高橋氏）
2月	16日	第3回看護管理者会	情報共有・研修等意見交換	